



【9 月議会 概要】

平成 24 年 9 月 3 日～14 日の日程で「平成 24 年度・第 3 回下妻市議会定例会」が開催されました。今議会では、「下妻市環境基本条例」の制定や補正予算等議案 6 件、平成 23 年度決算の認定（一般会計、各特別会計）8 件、「平成 23 年度財政判断比率」等報告 5 件、諮問 1 件が上程・審議され、全議案可決・承認されました。また請願は 3 件提出されました。

【下妻市環境基本条例が制定されます】

地球規模の現代的課題である環境破壊に対して、下妻市、市民及び事業者が、良好な環境を守り次の世代に引継ぐための基本的な事項を定めた条例です。

今後、条例に従い、環境保全に関する目標・施策の大綱を定める環境基本計画が作られ（来年 3 月目途）基本計画に従い、具体的な取組みが進んでいくことになります。

これまで、容易に進展せず予算配分も少なかった政策分野ですが、今後の前進を目指してまいります。

【23 年度決算を認定しました】

歳入決算額 290 億 2387 万円（うち一般会計 191 億 5859 万円）

歳出決算額 270 億 3160 万円（うち一般会計 177 億 6104 万円）

となっており、前年度との比較では、歳入が 13.3%（約 34 億）

歳出が 12.4%（約 30 億）増えており財政規模が拡大しています。

その理由としては、東日本大震災対応のための交付金、その支出

東部中学校建設や南原・平川戸線の事業債の起債、工事の実施

繰入金・繰越金の増額などが挙げられます。



【東部中学校】

砂沼サンビーチ特別会計は歳入が 2 億 2150 万円、歳出が 1 億 3950 万円で、8199 万円の黒字でした。本年度（H24 年度）も猛暑による大入りだったため、上記の金額から更に利益を上積みできる見通しです。



【砂沼サンビーチ】

【財政判断比率の報告がありました】

	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	早期健全化基準
実質赤字比率	－% (比率なし)	－% (比率なし)	－% (比率なし)	－% (比率なし)	13.25%
連結実質赤字比率	－% (比率なし)	－% (比率なし)	－% (比率なし)	－% (比率なし)	18.25%
実質公債費比率	18.5%	17.6%	16.5%	15.4%	25.0%
将来負担比率	128.3%	113.7%	117.6%	114.6%	350.0%

過去の各比率の推移を見ますと、ここまで当市財政の健全化が順調に進んでいるのが分かります。しかし今期、前述のように事業債の起債がありました。今後も大きな起債が続けば、各比率への影響も考えられますので、注視していくことが必要かと思います。

【一般質問より】

【自治基本条例制定の考えはあるか】

まちづくりの主人公は一人ひとりの市民であることを確認し、地方自治・民主主義を推進していくための基本条例です。この条例の制定に向けては、過去にも提案しつつ、常任委員会の視察を行うなど、継続的に取り組んできました。今回改めて制定の考えがあるか促すとともに、制定過程は積極的な市民参加のしくみを設けるべきと提案しました。

答弁は、制定のための検討を始めた、制定過程においては積極的な市民参加を考えているというものであり、**当市における市民協働政策が大きく前進**する手ごたえを感じました。

【災害ボランティアの活用について】

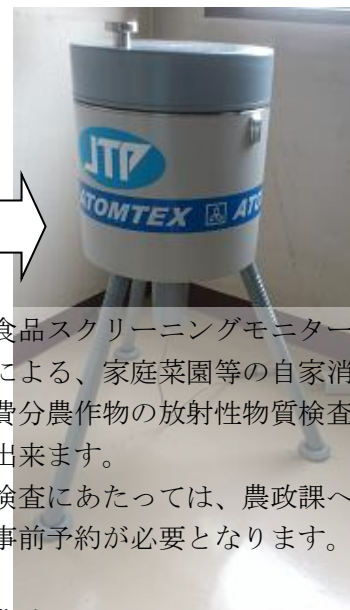
東日本大震災後、防災体制の見直しが行われていますが、そのうち防災ボランティアに絞って何点か質問をいたしました（マニュアル作成・コーディネーター選任、ボランティア登録の普及啓発など）。答弁としては、現在見直し中の下妻市地域防災計画の中で検討していくとのことでした。

【一般質問の提案 実現しました】

H23 年 9 月定例会 斯波一般質問より

消費者庁は希望する自治体に対し（独）国民生活センターを通した**放射性物質検査機器の貸与**と、その検査方法の研究支援を発表しました。本市もこの制度を利用する考えはありますでしょうか。

答弁：検討してまいります。結果：**H24 年 9 月より実施**しております。



食品スクリーニングモニターによる、家庭菜園等の自家消費分農作物の放射性物質検査が出来ます。検査にあたっては、農政課への事前予約が必要となります。

農政課 TEL：0296-43-2111
内線 2622 料金：無料

H23 年 6 月定例会 斯波一般質問より

学童期の子供の 5%～6%が **ADHD 等、発達障がい**（LD・ADHD・高機能自閉症）、身近な問題にも関らず障がい分かりにくく、理解が浸透していない。周囲の正しい知識の習得と理解が必要、そのための**学習会の開催、医療機関との連携強化**提案。答弁：本市において 223 名が特別な支援必要（5.8%）、関係機関との連携、医療機関からの講師の招聘を考慮し検討していきたい。結果：**H24 年 8 月 22 日「医療的立場から見た発達障害児の理解とサポート」開催、今後も継続**

H20 年 9 月定例会・H23 年 6 月定例会 斯波一般質問より

環境首都コンテストへ参加の考えはあるか 答弁：環境基本計画の策定等条件を整えながら検討したい。

原発事故を契機として日本のエネルギー政策は大きく転換する、まずは**環境分野への予算配分増、早急な環境基本計画の策定**が必要、本当に今やらなければならないこと、この場で前向きな答弁を。答弁：計画策定は、震災後の新たなライフスタイルを示す意味でも重要、研究検討してまいります。結果：前述の通り**来年 3 月目途に作成**

【3 件の請願採択に向け取り組みました】

今議会に提出された請願 3 件すべてに関与させて頂きました、採択状況は次のとおりです。

【教育予算の拡充を求める請願】＝継続審査

毎年、紹介議員としてサポートさせて頂いている請願、OECD 加盟 28 カ国中 GDP に占める教育費の割合は日本が最下位であるという事実を受け、少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持、東日本大震災における教育復興のための予算処置の継続、を国に対して求めていくものです。

【市道 1481 号線拡幅整備に関する請願書】＝継続審査

歩道の無い狭い道路であるにもかかわらず、交通量の多い道路であり、かつ上妻小学校・下妻中学校の通学路であるということで、当該道路の拡幅・歩道の設置などを求める請願です。

【**東海第二原発廃炉**を求める決議に関する請願書】＝採択 国、政府、県に意見書を提出しました。講演会の実施、署名の収集など、請願代表者の方とともに取り組んできた請願です。**東海第二原発の意見書を国、政府、県に提出しました。（ご署名いただいた皆さまありがとうございました）**

※継続審査＝今議会では採択・不採択の議決をせず、次の会期で引き続き審査すること